

平成28年1月 東京地区百貨店売上高概況

平成28年2月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,392億円余
2. 前年同月比	0.2% (10か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.2%(91.4%) : 非店頭-0.4%(8.6%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成27年12月対比±0店)
5. 総店舗面積	857,392㎡ (前年同月比:0.3%)
6. 総従業員数	18,837人 (前年同月比:0.2%)
7. 3か月移動平均値	6-8月 6.4%、7-9月 6.1%、8-10月 6.1%、 9-11月 3.9%、10-12月 3.0%、11-1月 1.0%

[参考] 平成27年1月の売上高増減率は0.7%

【1月売上の特徴】

- (1) 正月休暇の1日減や、中旬の大雪の影響もあり入店客数は0.6%減で推移したものの、総額では0.2%増の10か月連続プラスとなった。
- (2) 商品別には月前半気温が高めに推移したことを要因に、重衣料や防寒小物を中心とした衣料品が伸び悩んだが、身のまわり品(+5.9%)、雑貨(+7.7%)が好調を持続したほか、家庭用品(+5.0%)、食料品(+2.0%)も健闘し全体売上を下支えした。
- (3) 細分類では化粧品が30.8%増で10か月連続のプラスを記録した半面、全国と同様に美術・宝飾・貴金属が10カ月ぶりにマイナスに転じた。また、地方物産展や食品催事の好調を受け、その他食料品(+0.3%)が5か月連続で前年を確保した。
- (4) 個別商材では梅春物のニット、ワンピース、スカートなどに活発な動きが見られたほか、ブーツの不振をパンプスがカバーする傾向が続いている。なお、インバウンド関連では国産化粧品や真珠など高品質商品に人気が集まり、スポーツシューズやハンドバッグに加え日本酒やウイスキー、漆器などジャパンメイド商品の動きも良好。
- (5) 2月は限定商材や有力ショコラティエなどの高付加価値商品を中心に、自家需要や友チョコなどの拡がりを生かしたバレンタイン商戦の活況や、春節の好調と前倒し(本年:7日~13日、前年:18日~24日)などから16日現在約2%増で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比-0.1日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した:3店、②変化なし:6店、③減少した:9店
- (3) 1月歳時記(初売り、クリアランス)の売上(同上/有効回答数10店舗)
 - ①増加した:3店、②変化なし:5店、③減少した:2店

東京地区百貨店 売上高速報 2016年01月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	139,202,299	100.0	0.2
紳士服・洋品	13,237,860	9.5	-9.9
婦人服・洋品	30,968,416	22.2	-6.0
子供服・洋品	2,680,600	1.9	2.1
その他衣料品	2,852,908	2.0	-0.3
衣 料 品	49,739,784	35.7	-6.4
身のまわり品	21,585,542	15.5	5.9
化粧品	10,302,811	7.4	30.8
美術・宝飾・貴金属	7,784,311	5.6	-6.8
その他雑貨	6,075,844	4.4	-2.0
雑 貨	24,162,966	17.4	7.7
家具	1,587,359	1.1	0.4
家電	831,112	0.6	18.3
その他家庭用品	4,658,315	3.3	4.5
家庭用品	7,076,786	5.1	5.0
生鮮食品	4,408,356	3.2	-0.7
菓子	8,382,289	6.0	7.3
惣菜	6,635,234	4.8	0.0
その他食料品	9,054,199	6.5	0.3
食 料 品	28,480,078	20.5	2.0
食堂 喫茶	3,126,294	2.2	-0.3
サ ー ビ ス	1,753,548	1.3	-21.3
そ の 他	3,277,301	2.4	7.8

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。
本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商品券	1,825,155 千円	-3.9
従業員数	18,837 人	0.2
店舗面積	857,392 m ²	0.3

営業日数	30.0 日	前年	30.1 日
------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が10か月連続、食料品が5か月連続、家庭用品が2か月連続のプラスとなった。また、衣料品が3か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が10か月連続、子供服・洋品が7か月連続、菓子、その他食料品が5か月連続のプラス、家具、その他家庭用品が2か月連続、家電が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	0.2	—	10か月連続プラス
紳士服・洋品	-9.9	-1.0	3か月連続マイナス
婦人服・洋品	-6.0	-1.4	3か月連続マイナス
子供服・洋品	2.1	0.0	7か月連続プラス
その他衣料品	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
衣料品	-6.4	-2.4	3か月連続マイナス
身のまわり品	5.9	0.9	10か月連続プラス
化粧品	30.8	1.7	10か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-6.8	-0.4	10か月ぶりマイナス*
その他雑貨	-2.0	-0.1	6か月連続マイナス*
雑貨	7.7	1.3	10か月連続プラス
家具	0.4	0.0	2か月連続プラス
家電	18.3	0.1	2か月ぶりプラス
その他家庭用品	4.5	0.1	2か月連続プラス
家庭用品	5.0	0.2	2か月連続プラス
生鮮食品	-0.7	0.0	3か月連続マイナス*
菓子	7.3	0.4	5か月連続プラス*
惣菜	-0.0	0.0	10か月ぶりマイナス*
その他食料品	0.3	0.0	5か月連続プラス*
食料品	2.0	0.4	5か月連続プラス
食堂喫茶	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
サービス	-21.3	-0.3	7か月連続マイナス
その他	7.8	0.2	6か月連続プラス
商品券	-3.9	-0.1	11か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・関まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>